

あかぎじんじや

赤城神社

建仁二年（1202年）に、新田義重が建てたと言われています。社殿の中には市指定重要文化財「ムカデと梅樹絵馬」（1840年北尾重光作）がかざられています。また、社殿の周りにもムカデの彫刻がかざられています。どんな絵馬かは、ネットや現地調べてみましょう。



赤城神社社殿

なぜムカデなの？

赤城神社の神様がムカデに変身して男体山の神と戦ったという伝説があるからだと思えます。



ムカデの彫刻

赤城神社の神様と御利益は？

赤城大明神（赤城山と湖）です。山から流れ出る水は生命に命を与え田畑の実りをもたらし、勇壮なる山なみは力強さを感じさせると言うことで、人々に尊敬されてきたのです。御利益はというと、赤城大明神は女神だと言うことで、特に女性の願いは何でも必ずかなうとか…。

ところで、この神社の秋のおまつりでは、「足次子ども神楽保存会」による神楽が見られたとか。太鼓に合わせて大黒様のお面を付けた子どもがタイを釣り上げたり、女子児童が田植えやいねかりの身振りをしていたとか…。(「館林市史特別編第5巻」P437)ぜひ残したいですね。



赤城神社全景



立派な忠霊塔が立っています